

まちの話題



協定書を掲げる梅谷市長とウィザス ナビ高校の谷本事務局長

ウィザス ナビ高校と施設利用協定締結

12月21日、養父市と養父市選挙管理委員会は、本年4月に旧大谷小学校の校舎を使って開校する通信制高校「ウィザス ナビ高校」と施設利用に関する協定を締結しました。

これは、市民の体育活動や災害発生時などに学校施設を利用することで、同校と市の連携強化を図るとともに、地域の振興に寄与することを目的に締結されたものです。主な協定内容は、▽市が認めた地域コミュニティ団体が体育館と屋外施設を利用できる▽災害発生時の避難場所として利用できる▽選挙の投票所として利用できる—の3点です。

書道・絵画コンクール受賞者決まる

第1回養父市こども書道・絵画コンクール表彰式が12月8日、ピバホールで開催されました。同コンクールは、養父地域の5歳児から中学生を対象に実施していたものを、市内全域に広げて行ったもので、299点の書道と480点の絵画が寄せられました。

厳正な審査の結果、それぞれの部門で特別賞4点、特選20点、入選50点（書道の部は52点）が選ばれました。特別賞の受賞者は次のとおりです。（敬称略）

- 【書道の部】▼市長賞Ⅱ辻本洋衣（養父中1年）▼議長賞Ⅱ村上里穂（広谷小1年）▼教育長賞Ⅱ松田太一（広谷小5年）▼市文化協会会長賞Ⅱ福田萌（浅野小3年）
- 【絵画の部】▼市長賞Ⅱ西村友香梨（広谷幼児センター）▼議長賞Ⅱ岡本真衣香（養父中3年）▼教育長賞Ⅱ綿貫将大（高柳小1年）▼市文化協会会長賞Ⅱ中永瑞希（建屋小3年）



梅谷市長から表彰される受賞者

順調な降雪と安全を祈願

氷ノ山、八千高原、東鉢伏高原一帯の冬山開きが12月7日、八千高原交流促進センターで行われ、観光関係者ら約60人が出席しました。

はじめに神事が行われ、出席者がスキーシーズンの安全と順調な降雪を祈願。引き続き、氷ノ山鉢伏観光協会の一ノ本達己会長らによって記念のくす玉割りとテープカットが行われました。

一ノ本会長は「今年は順調な降雪が予想され、みんなでおもてなしの心をもって、お客様をお迎えしたい」と話しました。

同協会によると、昨シーズンは暖冬の影響で入り込み客が例年の半分の約10万6000人と激減。今シーズンは、順調な降雪で多くの観光交流人が訪れることが期待されます。



雪の積もった八千高原でテープカットする参加者